

二級水系浦川河川整備計画

平成18年3月

熊 本 県

二級水系浦川河川整備計画

目 次

第1章 浦川流域の概要	1
第2章 河川整備計画の目標に関する事項	3
第1節 計画対象区間	3
第2節 計画対象期間	3
第3節 洪水、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項	3
第4節 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する事項	3
第5節 河川環境の整備と保全に関する事項	3
第3章 河川整備の実施に関する事項	4
第1節 河川工事の目的、種類及び施行の場所並びに河川工事の施行により設置される河川管理施設の機能の概要	4
第1項 河川工事の目的、種類及び施行の場所	4
第2項 河川工事の施行により設置される河川管理施設の機能の概要	4
第2節 河川の維持の目的、種類及び施行の場所	4
第3節 その他の河川整備を総合的に行うために必要な事項	4
第1項 超過洪水対策	4
第2項 河川情報の提供、流域における取り組みへの支援等に関する事項	5
(参考資料)	
河川整備対象区間位置図	6
河川計画横断面図	7

第1章 浦川流域の概要

浦川はその源を荒尾市の北部の池黒池に発し、途中支川の増永川を合わせ、長洲町に入って圃場整備された水田地帯を流下した後、市街地を貫流して有明海に注いでいる、流域面積 13.5km²、流路延長 7.6km の二級河川である。長洲町市街地を流下する本川は「嘉永川」とも呼ばれている。

気候は温暖であり、年間平均気温は約 17℃である。流域の年間降水量は 1,900mm 程度であり、降雨は梅雨期、台風期に集中し、この時期の豪雨により災害が多く発生している。

本地域の地質は、上流域の丘陵では新生代古第三紀の砂岩・頁岩層よりなり、中流から下流域では、河川沿いに沖積低地が形成されている。

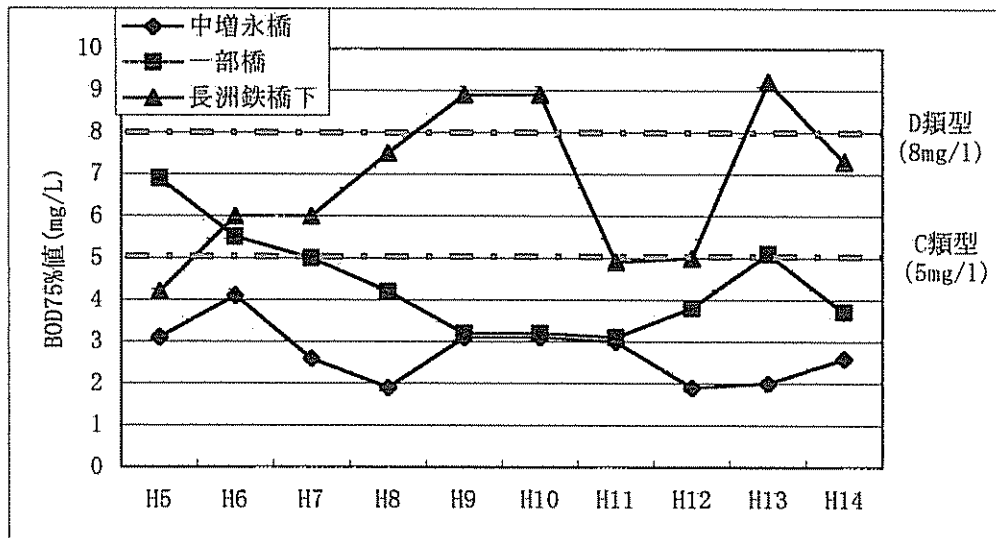
浦川では、昭和 37 年 7 月豪雨の際に床上浸水、床下浸水、田畑の冠水等が生じ、その後も 2、3 年毎に田畑の冠水が生じている。そのため、治水対策として、昭和 56 年から中小河川改修事業（後に広域基幹河川改修事業に改名）、平成 4 年から圃場整備と合わせた河川改修が進められている。

浦川の河川水は、古くから流域の灌漑用水等に利用されている。また流域内では、地下水が流域の灌漑用水や大牟田市の上水として利用されており、灌漑用として多数の溜池が存在している。

浦川流域は、丘陵からなる上流部で宅地化が進んでいるのに対し、中流部から下流部の河道沿いは圃場整備された水田が広がっている。また、中流部の丘陵地帯は大規模な産業団地、工業団地が開発されている。

水質に関しては、中増永橋より上流は C 類型、中増永橋より下流は D 類型の水質類型指定となっている。平成 9 年度、平成 10 年度及び平成 13 年度の BOD75% 値では、調査地点の最下流端である長洲鉄橋下で、水質が悪化し環境基準を満足していないが、他二点については概ね満足している。また、過去 10 年の平均値でみると、経年的に環境基準を満足している。

調査地点	基準値 (mg/L)	BOD75%値 (mg/L)										平均値
		H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	
中増永橋	5	3.1	4.1	2.6	1.9	3.1	3.1	3.0	1.9	2.0	2.6	2.7
一部橋	8	6.9	5.5	5.0	4.2	3.2	3.2	3.1	3.8	5.1	3.7	4.4
長洲鉄橋下	8	4.2	6.0	6.0	7.5	8.9	8.9	4.9	5.0	9.2	7.3	6.8



浦川の中流から下流におけるほとんどの区間は、コンクリート等の護岸がなされている。

浦川の植生は全域にセイタカアワダチソウ群落、マコモ群落が確認され、中流域ではメダケ群落、オギ群落、ホウライチク群落が多く見られる。流域における保全上重要な植物としては、アサザ（絶滅危惧Ⅱ類；環境省レッドデータブック）、ハチジョウナ（情報不足種；熊本県レッドデータブック）が確認されている。

一方、浦川の鳥類はコサギ、ハクセキレイ、カワセミ等の水田や宅地周辺等で繁殖する種が多い。魚類は瀬を好むオイカワ、カワムツ、また淵を好むカマツカ、ツチフキ、モツゴ、コイ等の他に、希少種のメダカ（絶滅危惧Ⅱ類；環境省レッドデータブック）が生息している。

第2章 河川整備計画の目標に関する事項

第1節 計画対象区間

二級河川法指定区間とする。 (図 河川整備対象区間位置図 参照)

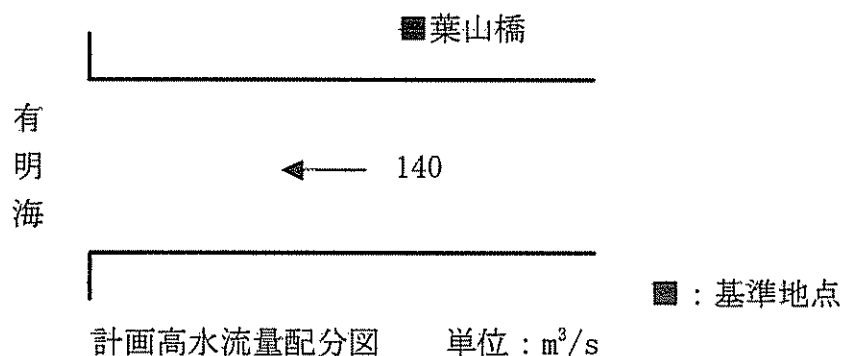
第2節 計画対象期間

計画策定から概ね10年間とする。

第3節 洪水、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項

浦川では、流域の社会・経済的な重要度と県内における他の河川との計画規模の整合等を考慮し、概ね30年に1回発生する規模の洪水を安全に流下させることを目標とする。

また、計画規模を超過する洪水氾濫を含め、被害の発生が予想される場合は、迅速な洪水情報の伝達を図り、被害の軽減を図る。



第4節 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する事項

浦川の河川水は古くから沿川の水田の灌漑用水等に利用されている。

また、植生は全川を通じてヨモギ群落、セイタカアワダチソウ群落などが生育し、魚類は下流域にコイ・ギンブナ等淵に生息する種が、中流域にはカワムツ等瀬を好む種が見られる。また、現況水質は中流部では比較的清浄であるが、下流部ではやや水質が悪化している。

今後、必要に応じて流量観測等により流況の把握に努め、渇水時には、関係機関及び水利権者等地域住民と調整を図り、現況の水環境の維持・改善に努める。

第5節 河川環境の整備と保全に関する事項

浦川流域は、市街地と昔ながらの田園地帯が混在し、河川などの水辺を中心に豊かな生態系が形成され、人々に親しまれており、上流から下流にわたり釣り、散策の場として利用されている。

従って、浦川の水辺生態系や景観の保全、及び人と河川との触れ合いの場の確保を図るため、河川整備の実施にあたっては、自然環境に配慮する。

第3章 河川整備の実施に関する事項

第1節 河川工事の目的、種類及び施行の場所並びに河川工事の施行により設置される河川管理施設の機能の概要

第1項 河川工事の目的、種類及び施行の場所

浦川（本町橋から芋尾橋までの約5.4km）及び支川増永川（本川合流点から増永橋までの約0.2km）において、築堤や掘削等により河川の疎通能力向上を図り、概ね30年に1回発生する規模の洪水を安全に流下させることを目標とする。

なお、工事にあたっては水辺の生態系、自然環境への配慮、地域への社会的・環境的対応を実施し、施工の影響を極力軽減するように努める。

第2項 河川工事の施行により設置される河川管理施設の機能の概要

計画高水流量に対する流下能力を確保するため、整備計画区間において、河道拡幅、河道掘削等による河道の整備を行う。その際、植生の回復しやすい護岸工法による整備により動植物の生息・生育環境に配慮するとともに、人が水辺に親しみやすいよう勾配の緩やかな河岸づくりを行う。

第2節 河川の維持の目的、種類及び施行の場所

河川の維持管理に関しては、法河川区間において、災害発生の防止又は軽減、河川の適正な利用、流水の正常な機能の維持及び河川環境の保全の観点から適切に行うものとする。

堤防の亀裂や陥没・漏水、護岸の破損や老朽化等、異常箇所が発見、現場状況に応じた法面の除草等を実施し、河川としての機能維持と沿川地域を含めた環境の保全を図るとともに、樋門・樋管等の構造物の定期的な点検により、必要に応じて各施設の改善や補修を行う。

河床の土砂堆積が著しく、洪水の安全な流下の障害となる場合は、魚類等の生息環境に配慮しながら河床浚渫及び掘削を行い、河道断面の確保を行う。

また、許可工作物についても、河川管理上支障を与えないよう維持補修の指導を行うとともに、占用された土地の適切な管理が行われるよう指導する。

第3節 その他の河川整備を総合的に行うために必要な事項

第1項 超過洪水対策

計画規模を超過する洪水氾濫を含め、被害の発生が予想される場合は、荒尾市、長洲町との連携により、地域の自主的な水防活動や避難経路の確保等に資する降雨・水位等の洪水情報を迅速に伝達する等、被害の軽減に努める。

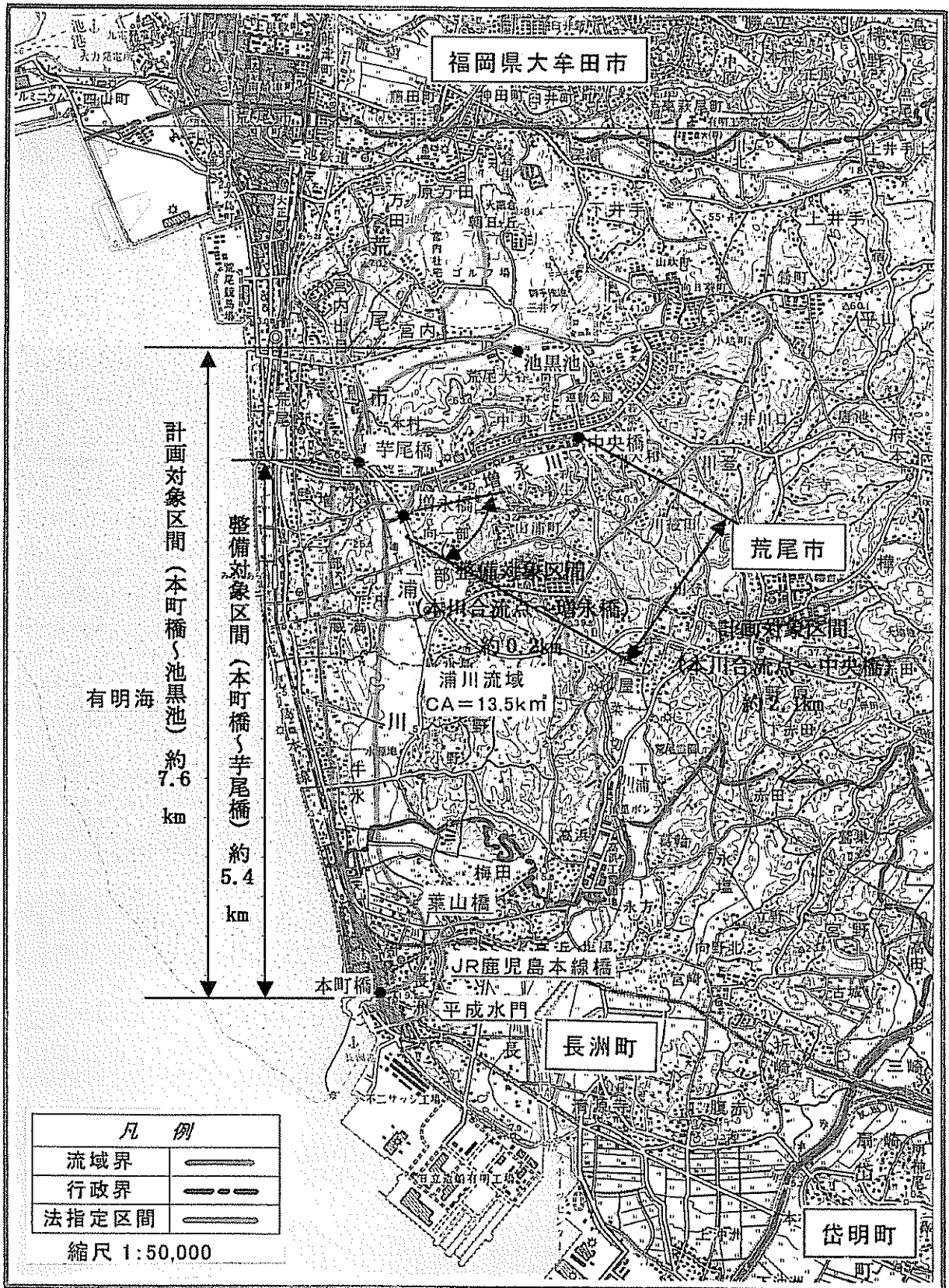
平常時は浸水想定区域図等の作成・公表等、災害情報の提供を推進するとともに、地域が主体となり、避難地・避難経路等を明示したハザードマップの作成・公表を積極的に支援する。

また、防災意識の浸透・高揚を図るため、住民参加型の防災教育、訓練を支援する。

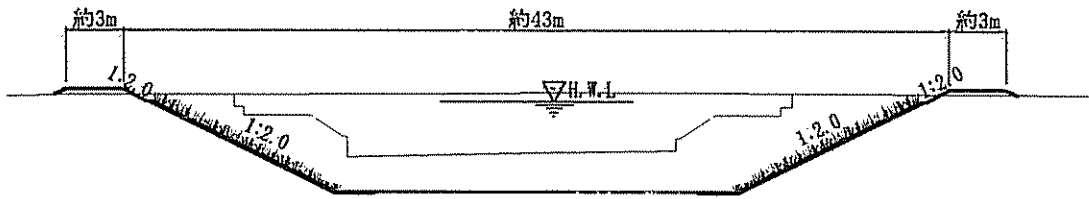
併せて、流域の視点に立った総合的な治水対策を行うため、関係機関との連携を図り、土地利用形態の変更に伴う流出量の増加を抑制する。

第2項 河川情報の提供、流域における取り組みへの支援等に関する事項

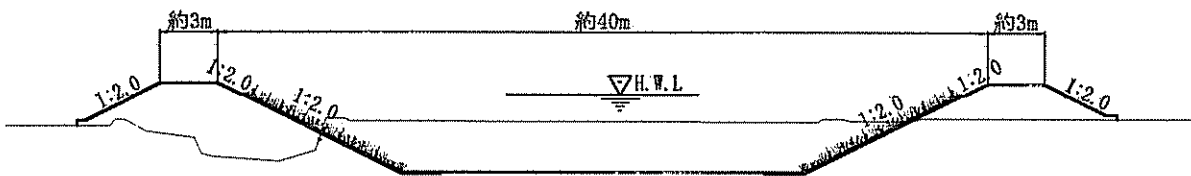
河川の機能を存続させ、また河川環境を保全し、良好な形で将来へ引き継いでいくためには、流域の人々や地域との連携、協力が不可欠である。そのための方策として、河川に関する情報を流域住民に幅広く提供することにより、河川愛護への意識高揚を促すとともに、河川に関わる住民活動を積極的に支援する等、地域社会との連携を図っていく。



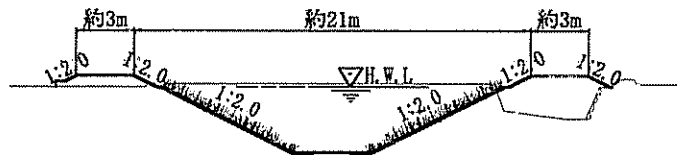
河川整備対象区間位置図



河川計画横断図（治水基準点葉山橋付近：0/850） S=1/400



河川計画横断図（3/000 地点付近） S=1/400



河川計画横断図（5/000 地点付近） S=1/400

H. W. L ; 計画高水位